

Page 70.

欽米局

2384

亞細亞局

公善物第一三五號

昭和九年四月十一日

在赤峰

領事 清野長太



外務大臣廣田弘毅殿

昭和九年四月十一日附 在滿大使 宛公信善物

第一三五號寫送附

件名

一、私、貝、多、家、古、古、園、ル、件

在赤峰日本領事館

1.6.1.2-13

330

昭和九年四月九日接受

別紙添附



普通第一三五號

昭和九年四月十一日

在赤峰

領事 清野長太郎

在滿州國

特命全權大使 菱川隆毅

私、貝、多、家、古、古、園、ル、件

本件ニ関シ松井兼總特務機長ヨリ
別紙情報輸入ノ事ニ付何等御参考
造之貴貨ニ付テ

本信送付先 外務大臣

在赤峰日本領事館

秘

承常報第三號
昭和九年四月二日

『私の見左蒙古』

承德特務機關長

歩兵中佐 松井源之助

Page 71.

配布先

- 軍參謀長 (一) 第七師團 (二) 軍政部參謀長 (三) 興安後軍長 (四) 騎兵集團 (五) 奉天 (三) 山核 (三) 多核 (三) 赤核 (三) 林核 (三) 春核 (三) 天津軍 (一) 北平軍 (五) 熱河憲兵隊 (五) 赤峰憲兵隊 (五) 承德領事 (三) 赤峰領事 (三) 子備 (一) 計 (一) 部

本小冊子ハ西烏珠穆沁王府機關員諸澤清八ノ内蒙
古勤務間起稿セルモノニシテ蒙古事情ヲ覽見スル
ニ單簡ニシテ要領ヲ得タルモノト認メ印刷分配ス
ルコト、セリ

目次

一	内蒙安奉ヲ起ヘテ
二	内蒙通商貿易
三	内蒙開發ト鉄道敷設
四	蒙古人ノ生活改善
五	喇嘛教ノ改革

私ノ見タ蒙古

於西烏珠穆沁王府

諸澤清八

興安峯ヲ越エテ

幾ツカノ歌ヤ詩ニナツタ興安峯ノ支脈ヲ前ニサレ
ハ山々群峰ヲ遙カニ左手ニ見ツ、峰ヲ下レハ千
古ノ謎ト社秘ヲ秘メタル一望千里ノ深渺タル草衆
地帯ガ
鼎ノ沸クカ如キ在界ノ現況ヲ外ニ原始的ナル彼等
ハ精神消耗的ナル野蠻極ル喇嘛教ヲ盲信シテコウ
シタコトヲ知ラウトモシナイカ少ナ蒙古包ヲ駱
駝ノ背ニオアンスヨ求メテ沙止カラクニ流レテ

歩ミソコニ彼等ノ草庵ヲ求メテイルダ
東洋ニ於ケル盟主タル我國ヲ東洋平和ノ為ニ相互
共存ノタメ友邦三千万民衆ノ喝望ヨリ義軍ヲ滿洲
ニ起シ我多ノ尊キ我等民衆ノ血ヲ此地ニ流シタ
カ滿洲国成立後三歳ノ今日皇帝ノ大典ヲ見ルノ喜
ビヨ得タ
滿洲国ハ既ニ一人ヲ育クテ行ケル
次ハ蒙古ノ蒙古民族ノ蹶起スルヘキ秋ガ我々蒙古
工作ハ東ルヘキ三十天至戦ノ準備ヲ又ナイ
領土ヲ侵奪セントスル野望ヲ富、貧、強弱ニ東亞民
族ヲ大同團結シテ腹カキ手ヲ握リアウヘキタ
吾東亞ノ平和ヲ招徠セシムルハク指導スルノカ真
ノ我々國天賦ノ使命ヲ有ルヘキタ

六 改革マヘキ通商貿易
 内蒙古「ヤハル」錫林郭勒盟地方及興安峯下ノ照烏
 達盟地方ノ未タ漢人及外國商人ノ進出ヲ見サル地
 方ノ蒙古人ハ日常生活ノ必需品ヲ購入スヘノ至ニ
 度々直リ物々交換ヲナスヘク毛皮類(主トシテ生皮
 マ、ニテ)綿羊山羊馬牛犬狼(獣)狐(貉)駝(羊)毛類(綿羊
 山羊駝(羊)毛)及菓草類燃料等ヲ牛車駝(羊)車ニ積載
 數日間ヲ要シテ漢人街ニ來ルノテアル
 狡猾ナル漢人ハ蒙昧無智ナル之レ等蒙古クヨリ法
 外ノ價格ニテ物品ヲ騙取シテイルノカ現在興安省
 林西開蒙熱河省圍場赤峰平ヤハル多倫地方ノ對蒙
 貿易デアアル
 今コ、ソノ商取引ノ例ヲ載ケテミル

普通市価、百斤約二十五元内外ノ山羊毛ヲ牛車一台
 ニ二百斤内外ヲ積載シテ市場ニ出ル彼等ハホハ前
 記ノ價格ヲ豫想シテイルニ又カ、ワラス一歩一
 元ケ一元五角或ハ、マツチ十箱トカ縫針一袋トカニ
 テ物々交換サレタリ菓ヲ求メニ出タ彼等ニ角砂糖
 一箱ヲ與ヘ高価ナル外國菓ナラント偽リ巧ニ物
 品ヲ捲上ケテシマウ、デアアル
 蒙古人ハコレヲ漢人ノ惠將ナル手段ヲ知リツ、又
 運搬シ來ル物品ヲ交換セスニ再ビ數日間ヲ要シテ
 販運スル譯ニセ行カス泣キ寢入りニテ物々交換ヲ
 スルカ如キ現況デアアル
 前記ノ簡章ナル一取引状態ヲ記セルニ過キサルカ
 以上ニテモ現在ノ蒙古地帯ニ格ケル漢人商人ノ對

蒙貿易状態が如何にハレル
漢人商ノ遷移ナル手段ヲ知ル一部蒙古人ノ有識階
級者達カ之レヲ商取引ノ改善ヲ叫ンテイルカ現在
ノ蒙昧ナル一般蒙古人ニハ、コウシタ改良運動ニ前
記ノ有識階級者間ノ一ノ間シテ何等一般牧人ニ
入レラレルトコトハ無一一方コウシタ商取引ノ改
善ヲ行ハレ又反面漢人ノ遷移ナル行為ヲ著ク蒙
古人ノ嫌悪ヲ買ツテイル適々支那人ノ压迫ソウ
ケタ蒙人ノ住ム地帯ヲ実情ノ知ラマ支那人高クカ毛
皮類ノ買出ニテモ旅行スルモノナラ物邊ノ迫害ヲ
迄ケルカ或ハ捕ヘラレテ慘殺サレタ例モ多クアル
ノテ支那商人ハ同地方ノ蒙古人ヲ極度ニ恐レテイ
ルカ一度蒙古人カ物品ニ窮シテ漢人部落ヲ訪ウタ
ナラ彼等ハ、アラユル手段ヲ講シテ蒙古人ニ迫害ヲ
加ヘルノテアル
カ、ル状態ナレハ漢人ト蒙古人トノ融和ハ到底望
ムレ又又ノテアル
將來蒙古民族ノ開發ヲ計ルニハ経済的方面ヨリノ
開發カハ一テアルト思フ
尙之カ商取引ノ對象トシテハ一部北蒙海拉爾方面
ノテ行ハレテイル物々交換市ヲ定期的ニ開キ漢人
商人ヲモ相當入蒙サセ取引ヲ行フコトテ、之等
ノ取引ニハ官憲ヲ立合サセテ漢人商人ノ暴利ヲ取
締ラセル等モ一ツノ手段テアル
一方コレカ定期市ニ伴フ繁盛又或少ナカラサル又
ノカアル次ノ市ノ開カレルマテ生活必需品ヲ無理

二 購入レ之ヲ貯藏シテ遊牧スル等又ハナカラ又弊
 害テアルカコウシタ事ハ各個人ニテ遠路數日間ヲ
 要シテ漢人市場ニ出テ甘イ汁ヲマシマト彼等ニ吸
 ハレルヨリハ増テアル
 又定期市ヲ開ク以外ニ外地方ニテ行ハレテイル
 購買組合制度ノ如キモノヲ各盟カ或ハ旗又ハア
 ラア(村)カ聯合シテ組合ヲ組織スルモ又有利ナル対
 策ナラン
 以上ノ外ニ比較的ニ漢人市場ニ近キ蒙古地帯ニテ
 ハ漢人市場ニ複又ハ盟ヨリ其ノ他ニ貿易兼事處ノ
 如キモノヲ設置シテ蒙古ヨリ輸出サレタル物品ノ
 賣買ヲ蒙古人ト漢人トノ取引仲介又ハ指導ヲナス
 等ノコトモ好キ手段トモ云ヒ得ル事ヲアロウ
 四

三、蒙古開發ト鉄道敷設

蒙古産業開發ニハ鉄道敷設カ焦眉ノ急務タトノ
輿論モ屢々新聞紙上ニテ知ルトコロテアルカ今
未開ノ彼地ニ産業開發或ハ土民救済ノ目的ヲモ
ツテ鉄道ヲ敷設セント假定スルモ先ツ!!之カ布
設工事ノ技師ハ當然日本人カ漢人ヲ招聘シナケ
レハナラマ
工事ヲスル苦カハ無論牛ヤ馬ヲ追フコトヨリ他
ニ知ラヌ怠情ナ蒙古奴隸ニハ絶体ニ出來得ヌコ
トデアル
畢竟山東苦カラ使役スルコトニナル
之ニ伴ナツテコレヲ漢人苦カラ相手ニスル支那
商人カ逐次入込ンテ來ル

五

商業ヲ知ラヌ蒙古人ハ折角現地ニ居リナカラミ
スノ漢人商人ニ甘イ汁ヲ吸ハレル譯タ
結局蒙古人ハ鉄道敷設ト同時ニ遊牧地帯カソ
タケ減シラレル譯テアル
曰ク彼等ニハ鉄道敷設ニ依リ何等恩惠ヲ受ケル
ワケテモナイ
汽車カ動イテモ機關手モ火夫モ出來ナイ彼等ニ
ハ何ノ爲メノ鉄道敷設ニナル譯カ?
未開ノ原野ニ急劇ニコウシタ文化ヲツキ込ンテ
モ彼等ニハ到底消化シ得ルタケノ氣カト準備カ
出來テ居ラヌ只徒ニ蒙古民族ヲシテ疲弊サセル
ノミタ
現ニ四平待ヨリ兆南ヲ經テチハアルヲ走ル四兆



線 = セヨチ、ハルト海拉爾ヲ繋ク東支鉄道 = セ
ヨ實 = ヨク歴史 = 物語ツテナル
四平街 = セヨ通遼 兆南 = セヨ海拉爾チ、ハルニ
セヨ以上ノトコノ土地 = セヨ年ヲ追ツテ蒙古情
況カ薄レ蒙古人ハ鉄道沿線ヨリ年ト共ニ遠サカ
リ彼等ノ安住ノ地ヲ求メルカ又ハ夥シイ漢人ノ
壓迫ヲ受ケ生キルカ為カ野人ノ如キ彼等モ半ハ
漢人化シテ來テナル
コレニ反シテ漢人移民ハ年々増加シツ、アル現
況ヲ結局漢人ノ為メノ鉄道設置トモ云フヘキモ
ノカアル
或ハ一方カラ見テ鉄道敷設モ喜フヘキコトタカ
先ツ第一 = 何等カノ方法 = テ蒙古人ノ福利ヲ計
ルヘキコトヲ考ヘテヤラナケレハナラナイ
曰ク蒙古人ノ技師ナリ汽車ヲ動かス機関手サテ
ハ線路ヲ敷ク工夫ナリヲ養育シテカラテモ蒙古
人ノ鉄道敷設ハ決シテ遅クハナイ
無論コウシタ方面ノ教育ハ養ヒ親タル吾國カ指
導シテヤルヘキタ
若シコウシタ計劃モナク徒ニ鉄道敷設ノミヲ焦
ツタナラハ再ヒ第三ノ四兆線ナリ東支線ナ
リノ失體ヲ繰返ス譯テアル
否北海道ノアイヌ民族ノ如ク次第ニ追レ滅ヒ行
クモノテハナカロウカ？
四 蒙古人生活ノ改善
蒙古民族ノ生活ヲ改善セント欲セハ先ツ現在行

ハレテキル如キ各自勝手ナ放牧ヲセスニ半固定
 牧場モ望マレヌカ集團的ナル團體ヲ作ルヘキタ
 例ヘハ一門親族カ或一定ノ地域内ニ集合シ各自
 ノ所有セル家畜ヲ一ヶ所ニ集合セシメテ之ヲ一
 門中ヨリ一名タケテ選出シ之カ家畜ノ監視ヲセ
 シメルノテアル他ノ者ハ燃料或ハ病畜ノ手當各
 ヲ定メラレタル分業ヲナスコトテアル
 畢竟以上ノ如キ集團ニヨリ幾分教育制度ノ改革
 モ出來得ルコトテアル
 現在ノ如キ放牧状態テハ到底児童ノ教育モ出來
 得ヌコトテアリ前記ノ如ク集團ヲナセハ一集團
 ト一集團トノ中央ニ小規模ナカラ学舎ヲ作り之
 カ教育施設モ出來得ル譯テアル

五 喇嘛教ノ改革

喇嘛教ト蒙古トノ關係ハ既ニ何人モ周知シテキ
 ル如クテアルカ邦人蒙古通ヲモツテ任スル方々
 カヨク著書或ハ新聞紙上ニ
 一 喇嘛ヲ知ラスニ蒙古ヲ論スルナ
 二 喇嘛ハ蒙古民族ヲ自滅サセルモノテアル
 三 喇嘛ハ蒙古民族ノ癌テアルトカ
 四 喇嘛ハ蒙古ノ阿片タ
 等々スク蒙古ヲ旅行セル邦人ノ一ツノ標語ノ様
 ナモノニナツテキル喇嘛教ハタシカニ蒙古ヲ滅
 シタ一原因テアル
 何ニセ國民ノ四割弱ハ喇嘛僧侶ト云ハレテキル
 位ヌカラ!



喇嘛教ノ改善ハ早クカラ蒙古ヲ知ル人々ニヨツ
テ叫ハレテ升タカ現在テハ喇嘛教々徒ノ中ノ青
年僧侶カ率先シテ精神消耗的ナ現在ノ喇嘛教ヲ
改革シテ新興喇嘛否真ニ蒙古民族ノ喇嘛教トシ
テ信仰スヘキ喇嘛教ヲ作ルヘキタト叫ハレテ升
ル

最近(事変後)發刊サレタル某蒙古通ノ著書中ニ喇
嘛教カ蒙古ヨリ消滅セヌ内ハ蒙古ノ自治ハ到底
望マレナイコトタト實ニ極端ナル説ヲ述ヘテ升
タカ昨今漸ク独立ノ氣運ニ進ミツ、アル蒙古カ
ラ假ニ強制的ニ喇嘛教ヲ排撃トカ又ハ彼等喇嘛
ニ對シテ一ツノ迫害ヲテモ加ヘンカ一部喇嘛ノ
弊害ヲ知り之カ改善ヲモ叫ンテ升ル青年或ハ有

識階級ハサテ置キ現在喇嘛ニ耽溺シテ升ル一般
蒙古民衆否幾百年前ヨリ先天的ニ喇嘛教ニ盲目
シテ升ル彼等ノ著ルシキ反感ヲ買ヒ宗教ニ盲目
的ナル彼等カ一朝活佛ヲテモ擁立シテ立ツタト
假定センカ想像以上ニ恐ルヘキ根強イモノカア
ルト思フ

現在ノ喇嘛ハ昔日ノ如ク直接旗或ハ盟ノ政治ニ
參與シ專横ヲ極メタル時代ハ過キタ
寧ロ政治的ニ手腕ヲ有シテ升ル有識者ハ前記ノ
如ク宗教的ニ動ク國民性ヲ利用シテ活佛ナトヲ
一ツノ傀儡ニツカツテ種々ノ運動ニ勉メテ升ル
尚蒙古ノ喇嘛教ハ決シテ昔日ノ如キ勢力ハナク
年々喇嘛寺カ減少シテ升ルナトハ實ニ喇嘛教ノ

表滅ヲ現實ニ物語ツテキル例々
 今ノ中年蒙古人カ他界シ現在蒙古ノ中堅トシテ
 立ツテナル青年カ中年者ニナル頃ハ喇嘛教ノ甚
 悪モ除去サレ真ノ佛教ヲ内容トシタ名實共ニ蒙
 古民族ノ信仰スヘキ喇嘛教ヲ作ルモ又近キ将来
 ナラン
 註|| 喇嘛ノ改革ヲ記スル前ニ喇嘛教制度ヲ知
 ルハク活佛大喇嘛徳木氣喇嘛克跪喇嘛小
 喇嘛及喇嘛祭大念經風俗習慣日常生活廟
 所有財産章嘉ガガン班禪ガガン等ニ付キ
 筆ヲ起セルモ今回ハソノ内カラタハ喇嘛
 改革タケテ記シタノテアル